

令和四年六月十一日(土)

第十八回

箱根をどり



 箱根湯本見番



<https://geisha.co.jp>

神奈川県足柄下郡箱根町湯本694 TEL 0460-85-5338

令和四年六月十一日(土)

第一部 十時半 開演
第二部 十二時半 開演
第三部 十四時半 開演

第十八回 箱根をどり

主催 箱根湯本見番



箱根湯本見番

本日は第十八回「箱根をどり」にご来場頂き、誠にありがとうございます。

この会が三年ぶりに開催できましたことを大変うれしく思います。

コロナ禍において、私達も苦しい現実が続いておりますが、組合員一同心をひとつにし、この会の開催に向けて頑張っております。

また、箱根町、箱根湯本温泉旅館組合、箱根湯本観光協会、関係団体等のご協力をはじめ、花柳界を最員にしてくださいませるお客様の多大なるご支援に改めて感謝申し上げます。

今後も箱根湯本見番は、できる限りの努力を続けていく所存でございますので、どうぞ皆様よろしくお願い申し上げます。

令和四年六月十一日(土)

箱根湯本見番

組合長 館 美喜子

番組組

一、長唄
鶯宿梅

一、俚奏樂
雪の山中

一、端唄集
江戸風情

惣をどり
湯本おくり

一、長唄 鶯宿梅

立方

(梅) 菜つみ

(鳥) 真 芽

(鶯) ひかる

唄

三味線

囃子

小 糸 琴 音 笛 幸 佳

温 味 優 美 子 小 鼓 茶 月

夢 路 梨 華 子 小 鼓 寿 々 子

大 鼓 李

太 鼓 真 昼

「梅に鶯」といえば、ほのほのとした春の風物詩ですが、この作品では美しく咲いた梅の木に意外な訪問者が現れます、口八丁でウグイスと偽りまんまと一夜の宿を手に入れますが、そこへ本当の鶯が訪れ……。清楚な「梅」・爽やかな二枚目の「鶯」、そして愛嬌たっぷり「鳥」三人のやりとりをお楽しみください。

長唄は語るように唄い、三味線の旋律も春らしい美しさにあふれています。今回は囃子方も舞台上で演奏する出囃子の形で花を添えます。

一、俚奏樂

雪の山中

作詞・作曲 本條秀太郎
作調 藤舎清之

立方

真 瑠

唄

三味線

陰囃子

小 系 操 真 昼

伊 央 李 寿 々 子

佐 知 琴 音 温 味

胡弓 優 美 子 茶 月

雪の聲が闇に聞こえる雪の夜。雪は音もなく降り、雪明かりに人の営みを映し出します。湯女(ゆな)の厚い人情と、旋律の美しさという特徴があります。古い湯の郷が持つ「縁結び」という不思議な力、温かい「ひとのこころ」を感じ取ることが出来ます。俚奏樂「雪の山中」は「山中節」の美しい旋律を取り込み、三味線伝統音楽「俚奏樂」として一九六九年に発表したものです。

一、端唄集

江戸風情

選曲・構成 本條秀太郎
作詞・作曲 藤舎清之
作調

立方

(男) たま侑

(女) 優穂

(きりり妓)

若葉

麻貴

琴巳

茶々

かえ

るかか

玲央

結糸

もなか

梨ん

唄

三味線

陰囃子

優美子

操

真昼

伊央

李

寿々子

佐知

小糸

琴音

夢路

温味

茶月

梨華子

幸佳

○

箱根お座付き「箱根路に」を開口に江戸情緒に遊ぶ芸者の粋を端唄の作品群で舞踊ります。今回は「助六」「吉三節分」と芝居仕立ての台詞回しもお楽しみください。馴染みの曲や箱根ならではの曲を三味線・囃子連中の音楽で盛り立てます。

惣をどり

湯本おくり

作詞・作曲 本條秀太郎

立方

優 穂

玲 央

若 葉

た ま 侑

か え

も な か

麻 貴

ひ かる

琴 巳

真 瑠

真 芽

る か

茶 々

菜 つ み

結 糸

梨 ん

唄

三味線

陰囃子

優 美 子

操

真 昼

伊 央

李

寿 々 子

佐 知

小 糸

琴 音

夢 路

温 味

茶 月

梨 華 子

幸 佳

○

恒例の惣をどり。

出演者全員、ご来場の皆様には感謝を込めて華やかに見送り致します。



茶々



真瑠



麻貴



たま侑



優穂



菜つみ



真芽



ひかる



かえ



玲央



梨ん



結糸



るか



琴巳



もなか



若葉

立方

地方



真昼



李



佐知



伊央



操



小糸



幸佳



琴音



温味



寿々子



茶月



梨華子



夢路



優美子

【指導講師】

舞踊 西川 扇与一

長唄 杵屋 新右衛門

端唄 奏楽 本條 秀太郎

鳴物 藤 舎 清之

笛 監修 鳳 聲 晴之

【スタッフ】

構成・演出・振付 西川 扇与一

音響 FM おだわら

床山 峰 原

衣裳 吉岡 衣裳

顔師 岡田 明憲

小道具 松 竹

写真 眞 デザインBOOK

映像 神保 聡史

【置屋】

(五十音順)

青本	佐華月	毘護田家	雪江田
梅本	七福	秀の家	ゆき和
勝西川	鈴美代	福の家	夢の家
一鳳	寿々本	ふじた	よし乃
菫茶家	すす和	ふ美芳	和喜田
菫田見	千福	堀田家	分堀田家
貴田村	千佳田	松芳	
喜春	津幸	美よし乃	
君照本	鶴巳	八津女	